

令和7年度全国学力・学習状況調査の結果について

本年4月小学校6年生と中学校3年生を対象に全国学力・学習状況調査が実施されました。本調査の結果をもとに、本市の児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学校での指導の充実や改善等に役立てています。

1 調査の内容

(1) 教科に関する調査

小学校調査は、国語・算数・理科。中学校調査は、国語・数学・理科。

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとなっています。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

(2) 質問紙調査

児童生徒の学習意欲、学習方法、学習環境、生活に関する調査です。

2 教科に関する調査結果

(1) 本市・県・全国の正答率 (%)

教 科	小学校 6年生				中学校 3年生		
	実施年度	本市	県	全国	本市	県	全国
国 語	R 7年度	6 4	6 7	6 6. 8	5 4	5 3	5 4. 3
	R 6年度	6 6	6 9	6 7. 7	5 6	5 6	5 8. 1
算数(数学)	R 7年度	5 4	5 7	5 8	4 6	4 5	4 8. 3
	R 6年度	6 3	6 2	6 3. 4	5 2	5 0	5 2. 5
理 科	R 7年度	6 2	6 0	5 7. 1	4 9 3	4 9 3	5 0 3

※理科は隔年調査 ※中3理科はIRTスコア

(2) 調査結果の考察

【小学校】

全国と比較すると、国語・算数ともに県・全国平均をやや下回りました。理科は、県・全国ともに上回る好結果です。全国との差は、年々縮まりつつありますが、全国平均を上回るためには「あと1問」の正解が必要です。その「あと1問」に向けた課題と対策は次のとおりです。

〈国語〉・・・目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討することができるかどうかをみる問題。

- 〈算数〉・・・目的に応じて適切なグラフを選択して出荷量の増減を判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題。
- 〈理科〉・・・「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができるかどうかをみる問題。
- 〔対策〕・・・目的に応じて、図表やグラフなどから、自分に必要な資料を適切に選択し、根拠をもって自分の考えを話したり書いたりできるよう、授業の中で発表や説明の機会を充実させていきます。

【中学校】

全国との比較では、国語はほぼ同程度、数学はやや下回りましたが、県との比較では、国語・数学いずれも県平均を上回る好結果でした。理科は、今回初めてC B T方式（従来のペーパーテストではなく、個々の生徒が1人1台端末でオンライン回答する方式）で実施されましたが、県・全国と同程度の結果となりました。各教科で特に課題が見られたのは以下の問題です。

- 〈国語〉・・・文脈に即して漢字を正しく使うことができるかどうかをみる問題。
- 〈数学〉・・・一次関数 $y = a x + b$ について、変化の割合を基に、 x の増加量に対する y の増加量を求めることができるかどうかをみる問題。
- 〈理科〉・・・化学変化に関する知識及び技能を活用して、実験の結果を分析して解釈し、化学変化を原子や分子のモデルで表すことができるかどうかを見る問題。
- 〔対策〕・・・国語では、漢字の書き取り（同音異義語を漢字で正しく書く）につまづきが見られました。本市の生徒は、全国との比較で、家庭学習の時間が少ないことが分かっていますので、定着すべき内容は家庭でも復習させたり、小テストを実施したりして、定着するまで繰り返し指導していきます。数学や理科においては、一人一台端末を活用し、ICT機器の操作に慣れさせるとともに、個に応じた発展問題等により多く触れさせるよう工夫していきます。

3 質問紙調査結果（一部抜粋）

【小学校】

(%)

質問項目	本市	県	全国
将来の夢や目標を持っていますか。	84.0	87.2	83.1
自分には、よいところがあると思いますか。	83.1	85.0	86.9
平日1日当たりどれくらいの時間 勉強をしますか ※ 2時間以上と回答した割合	21.7	22.1	24.9
あなたの家では、およそどれくらいの本がありますか（雑誌、教科書等は除く） ※ 100冊以上と回答した割合	21.3	24.1	30.9
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	83.5	81.5	81.3

〔 考 察 〕

小学6年生の結果では、「夢や目標を持っている」と回答した児童が、県に比べて少なく、「自分にはよいところがある」と回答した児童も、県・全国を下回る結果となりました。学校では、友達との関わり合いや話合い活動を充実させ、互いのよさを認めたり、主体的に取り組む姿勢などを称賛したりして、児童に夢や自信をもたせるよう指導を継続していきます。

次に「平日の家庭学習が2時間以上」と回答した児童は、県・全国を下回っており、「家に100冊以上本がある」と回答した割合も少ないことから、家庭学習や読書の習慣付け・意欲付けにも課題が感じられます。

一方で、本市の児童はこれまでの調査から、地域行事への参加率が高いことが分かっており、それに伴い、地域や社会に貢献したいと考えている児童が多いことも伺えました。

【中学校】

(%)

質問項目	本市	県	全国
将来の夢や目標を持っていますか。	72.4	69.9	67.5
自分には、よいところがあると思いますか。	88.0	84.4	86.2
平日1日当たりどれくらいの時間 勉強をしますか。 ※ 2時間以上と回答した割合	19.2	26.2	30.8
あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(雑誌、教科書等除く) ※ 100冊以上と回答した割合	19.6	21.0	27.2
地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。	79.5	77.9	75.3

〔 考 察 〕

中学3年生の結果では、「夢や目標を持っている」と回答した生徒は、県・全国に比べて多く、「自分にはよいところがある」と回答した生徒も、県・全国を上回る好結果となりました。学校では、生徒が実力を発揮し、自分の可能性を広げながら自信をもって活躍できる場の設定・充実を図り、向上心や自尊感情等を高めていきます。

一方、家庭学習の状況については、「家庭学習の時間が平日2時間以上」と回答した生徒は県・全国と比較して少なく、家庭学習にかける時間が不足していると思われます。また「家に100冊以上本がある」と回答した割合も少ないことから、小学生同様に、家庭における学習習慣の確立や読書の習慣付けにも課題が感じられます。

なお、地域や社会に貢献したいと考えている生徒が、県・全国と比べて、かなり多いことも伺えました。